

鳴海周平の

全国ぶらり旅

熊本編



♪あんたがたどいこ、肥後や、

肥後どいこ、熊本さ♪

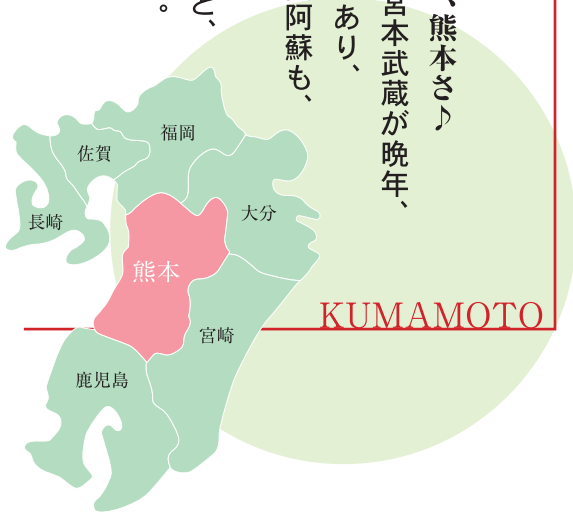
という歌でもお馴染みの熊本県。宮本武蔵が晩年、安住の地として過ごした場所でもあり、世界一のカルデラで有名な火の国阿蘇も、この熊本県です。

今回のぶらり旅は、火の国阿蘇と、武蔵ゆかりの地を訪れてみました。

日本三大名城のひとつとして知られる熊本城は、1601年から1607年にかけて、肥後の領主となつた加藤清正によって建てられた城です。

城郭の広さ約98万平方メートル、周囲5.3キロメートルという広大な敷地（東京ドームがナント、20個も入るんです！）には、数多くの重要文化財が立ち並んでいます。加藤家の治世は2代44年しか続きませんでした。その後豊前小倉から来た細川忠利が城主となり、明治4年（1871年）まで11代239年の間、細川家の居城として続きました。

その後、明治10年（1877年）西南戦争で、大部分が消失してしまいましたが、宇土櫓ほか12棟は残り、重



要文化財となっています。



30度を超える暑さの中、築城当時の格好で門番をしている方々。本当にお疲れさまです。



宮本武蔵が籠って「五輪の書」を書いた霊厳堂。



霊厳堂に向かう途中には五百羅漢が並んでいます。



平成15年に大河ドラマ「宮本武蔵」が放送された時に建てられた宮本武蔵像。

宮本武蔵が熊本に招かれたのは、細川忠利の時代で、客分として細川藩の指南役を務めたり、絵画や書画、彫刻などにも優れた腕前を披露していたようです。当時の一般的な兵法者の年棒は30石程度だったらしいのですが、武蔵は300石を与えられていたといえますから、家臣ではなく客分という扱いだったのではないのでしょうか。

もしれません。主君の細川忠利が亡くなった後、武蔵は世間との関わりを絶ち、霊厳堂にこもって禅に没頭するようになります。この洞窟で人生の集大成として書き上げたのが有名な「五輪の書」です。

この書物は350年以上経った今でも世界各国で翻訳され、たくさんファンを魅了し続けています。江戸時代からのベストセラーって、何だか凄いですよね。

「ここで武蔵が『五輪の書』を書いていたんだなあ」と感慨に浸りながら、武蔵ゆかりの地を後にしました。

火の国阿蘇に着いたのはもう夕方。世界一のカルデラの中に、目的の阿蘇ファームランドがありました。晴れているのに、何度も稲妻が光り、雷鳴がとどろきます。外輪山に走る稲妻がはつきり見えるのも、阿蘇ならではの風景なんでしょうね。

「ようこそ、遠いところよくいらっしやいました。」

笑顔で迎えてくれたのは、阿蘇生まれで阿蘇育ちの池田日出一さん。阿蘇ファームランドの営業企画課の課長さんです。

「オープンしたのは1995年なんです。毎年新規オープンの設備があって、リニューアルもしょっちゅう。だから訪れてくれる皆さんは、いつも新



阿蘇ファームランドの池田さんに施設を案内していただきました。



330棟ものドーム型ホテルが並ぶ阿蘇ファームヴィレッジは圧巻です。

珍しい動物たちと直接触れ合うことが出来る「ふれあい動物王国」などで、たっぷり遊んだ後は「阿蘇健康火山温泉」でゆつくりと身体を癒すことができるという、まさに健康になるためのリゾート施設なので、3世代で遊びに来られる方が多いのも納得です。

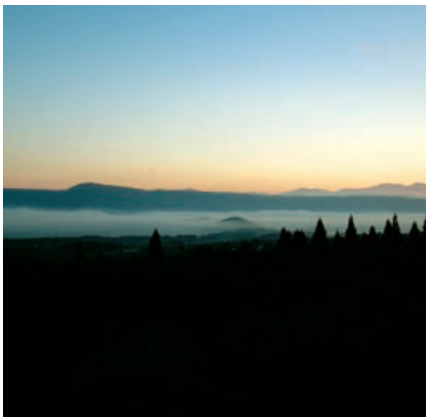
「来て頂いた方には、楽しみながら

鮮で楽しいね、って言うってくれるんです。家族連れ、それもおじいちゃん、おばあちゃんも一緒に来られるところが多いですね。」

阿蘇ファームランドのテーマは「人・自然・元気」。楽しみながら体力作りが出来る「元気の森」や、工芸やお菓子作りが体験できる「阿蘇15村」、



日本の炭アートの第一人者「熊五郎」さんの作品を常設している日本で唯一のアートギャラリー。あらゆるものが芸術的な形の炭になっています。



有名な阿蘇の雲海。夜明けの雲海は特に神秘的でした。



ファームランドにある炭焼き窯の前で池田さんと記念撮影。



炭焼きバーベキュー広場では竹で炊いたご飯を食べることが出来ます。自然水で炊き上げたご飯は最高です!!



炭の健康機能に着目した商品がズラリと並んでいる「炭ギャラリー健康館」

健康に対する関心を深めていただきたいんです。ほとんどが熊本県、福岡県という近い所からいらっしやるお客様ですが、昨年の来場者数は420万人で、東京デイズニールランド、ユニバーサルスタジオジャパン、八景島シーパラダイス、大阪の新天地に次ぐ、全国5位だったんです。皆さん一度いらっしやったら、クセになつてしまいうらしいです。(笑)

「第24回プロが選ぶ観光・食事・お土産施設100選」の5位にも選ばれた阿蘇ファームランド。今後はどういった展開をしていくのでしょうか？「これからも目指すところは来て頂いた皆さんの「健康」ですね。それも楽しみながら関心を深めていただくということをもっともっと究めていきたいと思っています。昨年は世界で初めての「炭の専門総合館」もオープン

しました。炭は最近、その癒し効果が注目されていますからね。ここは自分で炭焼きの体験も出来るんですよ。焼き上がった炭をアート作品みたいに自宅で飾っているだけでも、マイナスイオンによるリラックス効果が体感出来る、と大好評なんです。」毎年、来場者数記録を更新している阿蘇ファームランド。ここからからだの癒しを求める人たちに、是非訪

れていたきたい名所です。「ここからからだの健康」を同じようにお伝えしている立場にある者としても、たいへん勉強になった旅でした。志を同じくする人とのこうしたご縁を、これからも大切にしていきたいと思えます。阿蘇ファームランド

TEL 0967・67・0001